

# 梅花藻の里で案内人養成

## GW三島栽培の背景作業し理解

三島市のNPO法人などを定期的に除去するグラウンドワーク三島は9日、市内の自然を「せせらぎ環境案内人」養成講座の一環として、同市の三島梅花藻の里で草刈りなどの作業を行った。

絶滅危惧種のミシマバイカモは冷たい清流と日照に加え、ぬめりは「水が気持ちよくて作業が楽しい。地元の人にも魅力を伝えた」と話した。受講者の22人は今後、ミシマザクラを植樹する松毛川沿岸でも実地研修を行い、同市芝本町に開設した案内処(どっこ)を拠点に観光ガイドとして活動する予定。

令和3年(2021年)10月10日(日曜日)



草刈りなどの作業に取り組む受講者

三島市の三島梅花藻の里